

平成 27年 05月 23日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

大館ロングライフ・ハウス

グループの名称

大館ロングライフ・ハウス

直近採択グループ番号

04-0021-0063

※過去に地域型ブランド化事業で
採択を受けたグループは記入

(グループ代表者)

代表者名

石川 成

代表者印

代表者所属先

有限会社石川建築

代表者構成員番号

VI-2

代表者所在地

秋田県大館市清水一丁目5-4

代表者電話番号

0186-42-2065

(グループ事務局)

事務局事業者名

三浦木材株式会社

事務局構成員番号

Ⅲ-1, VI-1

事務局担当者名

小畑 卓

印

事務局郵便番号

017-0031

事務局所在地

秋田県大館市上代野字上代野5番地1

事務局電話番号

0186-48-5811

事務局FAX

0186-48-5814

事務局担当者E-mail

miuramokuzai-kenchiku@mbr.nifty.com

1. 地域型住宅の名称(必須)	大館ロングライフ・ハウス
2. グループの名称(必須)	大館ロングライフ・ハウス
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0021-0063
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	秋田県
5. 結成年(必須)	2013 年
6. グループ代表者名(必須)	石川 成
7. グループ代表者の所属先(必須)	有限会社石川建築
8. グループ代表者の構成員番号(必須)	VI-2
9. グループ代表者所在地(必須)	秋田県大館市清水一丁目5-4
10. グループ代表者電話番号(必須)	0186-42-2065
11. グループ事務局事業者名(必須)	三浦木材株式会社
12. グループ事務局の構成員番号(必須)	III-1, VI-1
13. グループ事務局担当者名(必須)	小畑 卓
14. グループ事務局郵便番号(必須)	017-0031
15. グループ事務局所在地(必須)	秋田県大館市上代野字上代野5番地1
16. グループ事務局電話番号(必須)	0186-48-5811
17. グループ事務局FAX番号(必須)	0186-48-5814
18. グループ事務局担当者E-mail(必須)	miuramokuzai-kenchiku@mbr.nifty.com

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	4	
II. 製材・集成材製造・合板製造	5	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	5	
IV. プレカット	1	手刻み加工をする場合は経由しない事がある
V. 設計	2	施工会社が自社で設計をする場合がある
VI. 施工	9	
VII. 省エネルギー設備等の流通	0	
VIII. 木材を扱わない流通	0	
IX. I～VIII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の①、②、③の番号を番号記入欄に記入してください。 ① 都道府県の産地認証制度等によるもの ② 民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) ③ 林野庁作成の「木材・木財製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)」に基づき合法性が証明されるもの	国内・国外
				番号記入欄
	秋田スギ	秋田県	乾燥秋田スギ認証制度	1 国内
	合法木材	国内	合法木材証明制度	3 国内
	合法木材	国外	合法木材証明制度	1 国外

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店+未経験工務店の合計 14 戸		地域材加算合計 14 戸	
	うち経験工務店による長期優良住宅 合計 14 戸	うち未経験工務店による長期優良住宅 合計 0 戸		
	うち申請が確実 11 戸	うち申請が確実 0 戸	地域材加算(うち申請が確実) 11 戸	
	うち申請が未確定 3 戸	うち申請が未確定 0 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 3 戸	
	高度省エネ型(認定低炭素住宅) 合計 14 戸		地域材加算合計 14 戸	
	うち申請が確実 10 戸	地域材加算(うち申請が確実) 10 戸		
	うち申請が未確定 4 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 4 戸		
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) 合計 0 戸		地域材加算合計 0 戸	
	うち申請が確実 0 戸	地域材加算(うち申請が確実) 0 戸		
	うち申請が未確定 0 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 0 戸		
C. 平成27年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)	優良建築物			
	うち申請が確実 棟	m ²		
	うち申請が未確定 棟	m ²		

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	各社1棟ずつ分配後、採択された段階で契約を行える物件を優先的に分配する。11月時点で1棟目の目処が立たない会員の割り当ては、話し合いにより他社に譲ることが出来る。配分が少ない場合は、昨年施工していない工務店および経験の少ない工務店を優先する。			
---	---	--	--	--

E. 平成26年度の執行状況(H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須)	長期優良住宅		完了実績見込み	
	採択戸数 13 戸	交付申請戸数 12 戸	竣工済 2 戸	竣工予定 10 戸
	木造建築物			
	採択棟数 0 棟	採択床面積 0 m ²		

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 大館ロングライフ・ハウス	(地域型住宅供給対象地域) 秋田県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 大館ロングライフ・ハウス	(結成年) 2013年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0021-0063	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に相違した地域型住宅の重視する性能	平成25年省エネ法の外皮・一次エネルギー基準に適合させる。積雪荷重に配慮した耐震性を確保する。(一次エネルギーは○、その他は◎)	○
②地域の気候・風土等に相違した地域型住宅の建て方や様式	地場の秋田スギを積極的に活用した住宅とする。また、落雪・雪庇に配慮した屋根形状とし、敷地内に排雪スペースを設ける。運動式の住宅用火災報知器を設置する。	◎
③地域の気候・風土等に相違した地域型住宅のデザインルール	親しみやすい「まち並み」を創るために、外壁の彩度基準を設ける。地場産の素材(秋田ウッド、秋田スギ内装材、珪藻土、十和田石、スーパーソル(軽石)、ペレットストーブ、まげわっぱ表札など)を一つ以上採用する。	◎
④①～③の背景	大館市は、盆地気候のため秋田県の中でも極寒の地域となっている。ここ数年は大雪が続いている事と高齢化が進んでいる事が重なり、雪害は深刻になっている。街並みは大火でほとんど焼けてしまい、特徴は残っていない。また、火災への問題意識が高い地域でもある。主な基幹産業の一つに林業がある。また、リサイクル製品やバイオマスなど環境に配慮した建材などが多く生産されている。	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	地域材および地域素材の規格寸法・スパン表を作成し、効率化をはかる。	◎
②建材・資材調達の見直しや事務の合理化	資材流通・在庫の状況などの情報を共有する。パンフレット、チェックリストやマニュアルを作成するほか、グループの共通書式をつくり業務の簡略化を図る。	◎
③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	定期的な会合で、研修会や技術情報交換会、克雷研究会などを行う。	◎
④生産の合理化等に向けた事務局の役割	連絡窓口となり、ホームページの管理と会員への情報メール等を定期的に発信する。	◎
b.		
①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	省エネ、耐震、克雷その他、共通ルールを踏まえた基準をまとめ、パンフレットを作成・配布する。	◎
②グループの信頼性向上に向けた検査ルールを設定	グループ独自の施工・手続きチェックリストを元に自主検査を行い、事務局へ提出する。	◎
③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	契約前に設計図書、見積書(細目まで)、木材調書(グループ書式)を提示し、説明を行う。	◎
④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	瑕疵担保保険及び地盤保証への加入を行う。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 大館ロングライフ・ハウス	(地域型住宅供給対象地域) 秋田県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 大館ロングライフ・ハウス	(結成年) 2013年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0021-0063		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	①住宅履歴情報の共通管理 診断・点検方法の共通化	住宅履歴情報のバックアップを事務局に置く。点検年表を作成し、一目で点検項目が判るようにする。共通の診断シートを活用する。	◎
	②メンテナンス・リフォーム 基準の整備	引渡し時にグループ共通の維持管理計画書およびメンテナンスマニュアルを配布する	◎
	③住まいの管理・DIY相談会 体験会などの実施	ユーザー向けのメンテナンス・リフォーム講座を開催する	○
	④グループ内における維持 管理検討委員会等の設置	定期的に開催する勉強会・情報交換会の中で維持管理についての情報交換や問題解決などを話し合う	◎
b	①グループ構成員の倒産廃 業時のバックアップ体制	事務局がお客窓口となり、困りごと相談を受け、必要に応じてグループ内からメンテナンス担当者を紹介する。	◎
	②グループ独自の瑕疵担保 ルールの整備	瑕疵発生時には基本的に各施工業者が対応し、その内容及び対処方法を事務局に報告する。また、問題が発生した場合は、事務局がユーザーの相談窓口となり、検討委員会(理事会)で対応を検討し対処する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入			
エ. グループの技術力の向上			
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	①未経験工務店等への施工 技術研修会等の開催	勉強会や経験工務店・設計事務所との意見交換会を定期的に行う	◎
	②①の研修会等の実施内容 とその開催頻度	秋田県木造建築アドバイザーによる勉強会、実例の見学会、省エネや先進技術・保険などの専門家による勉強会などを年2回、その他随時開催する	◎
	③総合的な需給計画の策定 等の中長期的な取組	グループの取組の認知度を高めるために、完成見学会の開催、パンフレットの配布、実例冊子の作成を行う。また、新規グループメンバーの拡充につとめる。	◎
	④③に基づく業種ごとの合 理化への取組	設計・施工は書式やチェックリストなどを共有し、新規参加がしやすいようにする。地域材供給側は必要とされる材等の需要を把握し、それに向けた供給体制を整える。	◎
b	①省エネ技術講習会への参 加目標人数	全員参加済み	◎
	②省エネ技術講習会への参 加促進のための取組	入会時の必須条件とする	◎
c	①新たな技術等の導入や開 発の検証のための方法	メーカーや専門家を招いた勉強会や意見交換会を定期的で開催する。協力業種に関する勉強会も行う。	◎
	②新たな技術等の導入や開 発に向けた実証実験の実 施等	お客様(OB)アンケートを実施する。また、意見交換会や研修会で話し合われた新技術の導入後について意見交換を行う。雪害については破損状況や対策について検証する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 大館ロングライフ・ハウス	(地域型住宅供給対象地域) 秋田県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 大館ロングライフ・ハウス	(結成年) 2013年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0021-0063	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅))の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	<p>①地域材ごとの使用部位(必須) ・乾燥秋田スギ 柱・梁。秋田スギ集成材(合法木材) 柱・梁。合法木材 柱(構造・耐久性が必要な部分)・その他構造材・下地材。</p> <p>②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合(必須) 柱に95%以上、構造材に60%以上、下地材に45%以上。</p> <p>地域材利用に関する共通ルール(必須) 基本的に合法木材を使用する。また、秋田スギを積極的に使用する。</p> <p>地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p>	◎
b	<p>①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組 事務局がまとめ、メールで随時連絡する。</p> <p>②グループ全体における地域材の需給予測 定期的に予想棟数を把握し、その情報を共有する。</p>	
c	<p>①-1 畳の活用 なるべくお勧めする</p> <p>①-2 和瓦の活用 地域特性上、使用しません(耐雪・構造耐力の関係)</p> <p>①-3 襖の活用 なるべくお勧めする</p> <p>①-4 障子の活用 なるべくお勧めする</p> <p>②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用 伝統工芸品のまげわっぱを活用した表札などを取り入れる。</p>	○
d	<p>①地域の伝統的なデザインを継承する取組 大火の街のため、伝統的なデザインが残っていない。雪国を念頭に置いた暮らしやすいデザインに取り組む。</p> <p>②地域の住まい方の継承につながる取組 売雪・西風・凍結対策を行う。</p> <p>③地域の街並み形成へ寄与する取組 落ち着いた街並みを創るために外壁の彩度基準を設ける。雪寄せスペースなど冬期間の安全対策を考える。</p> <p>④和の住まいの要素を取入れた取組 なるべくお勧めする</p>	◎
その他	<p>※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入</p>	

その他

◎、○
記入欄

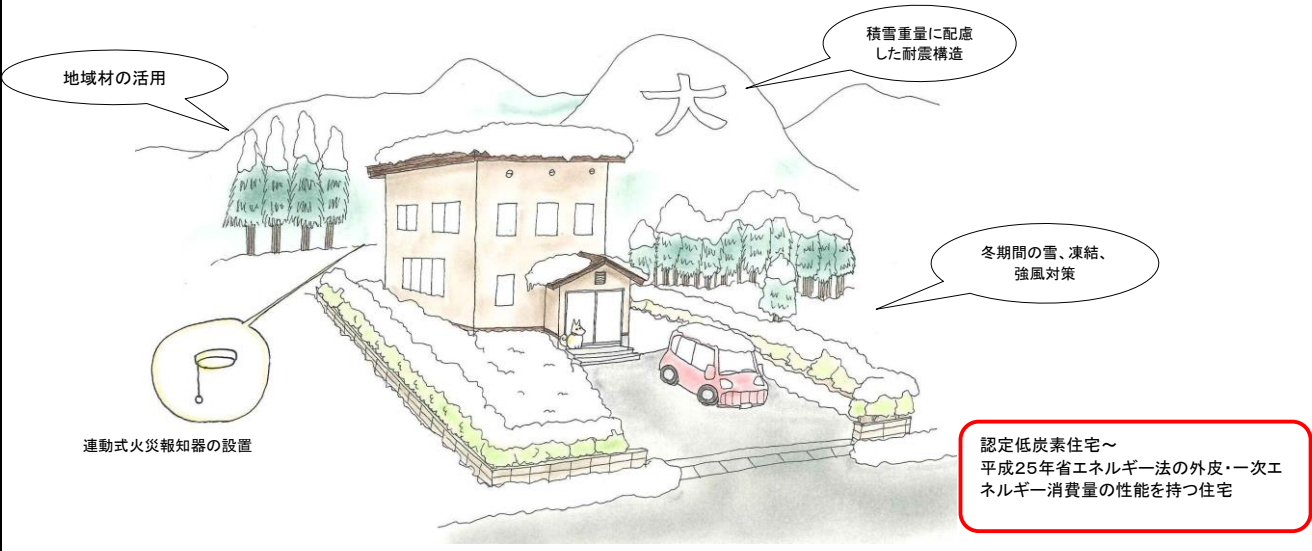
【平成27年度対応方針】

東日本大震災の復興に資する取組

グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。



※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。